

2013年2月期 第2四半期決算説明会

イオンディライト株式会社

代表取締役社長 梅本 和典

2012年10月4日



§ 1 2012年度 上期業績

§ 2 2012年度 下期以降の取り組み

§ 3 2012年度 業績見通し

§ 4 参考資料

§ 1 2012年度 上期業績

§ 2 2012年度 下期以降の取り組み

§ 3 2012年度 業績見通し

§ 4 参考資料

業績について

過去最高益を達成

1. 売上高は前年同期比**115.3%**
2. 営業・経常・四半期純利益は**3期連続増益**

単位:百万円

| | 2013年2月期 第2四半期累計 | | | | |
|--------|------------------|------------|------------|--------|------------|
| | 実績数値 | 売上比 (%) | 前年比 (%) | 前年差 | 公表比 (%) |
| 売上高 | 126,771 | 100.0 | 115.3 | 16,821 | 105.6 |
| 営業利益 | 7,113 | 5.6 | 102.9 | 197 | 93.6 |
| 経常利益 | 7,124 | 5.6 | 102.1 | 149 | 93.7 |
| 四半期純利益 | 3,944 | 3.1 | 106.2 | 228 | 98.6 |

セグメント別評価

建設施工事業、前年比**214.5%**

LEDの受託拡大により環境事業関連の構成比増加

単位:百万円

| | 2013年2月期 第2四半期累計 | | | 2012年2月期 第2四半期累計 | |
|---------|------------------|---------|---------|------------------|---------|
| | 売上高 | 構成比 (%) | 前年比 (%) | 売上高 | 構成比 (%) |
| 設備管理事業 | 21,124 | 16.7 | 99.2 | 21,292 | 19.4 |
| 清掃事業 | 20,206 | 15.9 | 101.9 | 19,835 | 18.0 |
| 警備事業 | 15,807 | 12.5 | 97.6 | 16,199 | 14.7 |
| 建設施工事業 | 29,965 | 23.6 | 214.5 | 13,970 | 12.7 |
| 資材関連事業 | 19,294 | 15.2 | 104.8 | 18,416 | 16.7 |
| 自動販売機事業 | 16,079 | 12.7 | 97.0 | 16,572 | 15.1 |
| サポート事業 | 4,290 | 3.4 | 117.9 | 3,639 | 3.3 |



AEON delight



連結貸借対照表

連結貸借対照表

単位:百万円

| | 2012年 8月31日現在 | 2012年 2月29日現在 | 増減額 | | 2012年 8月31日現在 | 2012年 2月29日現在 | 増減額 |
|--------|------------------|------------------|--------|----------|------------------|------------------|--------|
| 流動資産 | 85,499 | 72,486 | 13,012 | 流動負債 | 43,370 | 33,643 | 9,727 |
| 固定資産 | 19,978 | 20,322 | ▲344 | 固定負債 | 996 | 983 | 12 |
| 有形固定資産 | 3,709 | 3,773 | ▲64 | 負債合計 | 44,366 | 34,626 | 9,739 |
| 無形固定資産 | 11,925 | 12,272 | ▲346 | | | | |
| 投資等 | 4,344 | 4,276 | 67 | 純資産合計 | 61,111 | 58,182 | 2,928 |
| 資産合計 | 105,478 | 92,809 | 12,668 | 負債・純資産合計 | 105,478 | 92,809 | 12,668 |

連結キャッシュ・フロー計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

単位:百万円

| | 2013年2月期 第2Q累計 | 2012年2月期 第2Q累計 |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | ▲1,600 | 2,883 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,887 | ▲1,680 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲1,119 | ▲1,566 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | ▲874 | ▲361 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,179 | 12,317 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,304 | 11,956 |

| 営業活動CF | |
|----------|---------|
| 税引前当期純利益 | 7,084 |
| 売上債権 | ▲15,894 |
| 仕入債務 | 10,786 |

| 投資活動CF | |
|-----------------|-------|
| 関係会社消費寄託金の寄託と返還 | 2,600 |

| 財務活動CF | |
|--------|--------|
| 配当金支払 | ▲1,049 |

●営業CFのマイナスはLED工事に伴う受取手形・売掛金の増加の影響

1. LEDの拡販

- 当初計画を上回るペースで拡販も、下期も好調を維持と予測

(上期計画) 138億円 (実績) 160億円

(下期計画) 90億円 (見込) 130億円

- 一方で、施工原価の上昇での利益率低下の改善が必要



イオンレイクタウン店 様

2. BEMSアグリゲータに採択

- 中小規模のビル等を対象に、エイ・ジー・サービス(株)と連携しBEMSの導入提案を推進 (上期実績) 174件
(目標) 2014年3月末で 1,600件 20億円目標

1. 中国事業の拡大

- 累計受託数は、グループ外7件を含む、北京7、天津3、広東 23 に拡大。

(2012年2月末) **16**件 ⇒ (2012年8月末) **33**件
従業員数 **1,283**名と拡大

- 重点エリアの合併戦略の第1号会社設立

「永旺永楽泰達(天津)物業服務有限公司」

- From JAPAN Made in China

2. アセアン事業の推進

- ベトナム(「**AEON DELIGHT(VIETNAM)CO., LTD.**」
11月設立予定)、マレーシアでの現地法人設立を推進

新規就業先

上期の主な取り組み



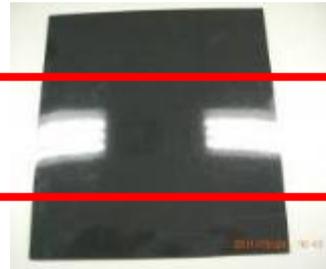
■ 清掃 床管理のイノベーション

● イオンディライトコート

- ・従来の樹脂ワックスに変わる水性コーティング剤を開発
- ・有機溶剤を使用せず高光沢、剥離不要を実現



LED蛍光灯の映り込み方の違いが明確に表れる光沢感



従来のワックス



新保護剤

現在、イオングループ45物件に展開中
下期拡大展開

警送に係わる各工程をパッケージ化

Before



After

包括的ソリューションを実現

一元管理システム

金融系サービス

機器販売・保守管理

業務改善コンサルティング



1. 5月、執行役員制度の導入

- 目的
- ①意思決定の迅速化及び業務執行の効率化
 - ②コーポレートガバナンスの強化
 - ③人材の育成・活用

取締役19名→**6名** 執行役員22名（取締役5名含む）

2. 次世代経営人材開発教育「経営者育成プログラム」

- ①2011年10月より開始。グループ各社の人材を含め、取締役からの推薦により30代～40代を中心に、1年間のプログラムで実施。20名が9月に修了
- ②受講者の中から執行役員に4名、関係会社役員に5名就任
- ③今後も経営育成を実施し、経営者に登用

■ 技術者集団の強化に向けて

上期実績 66セミナー実施・受講者数1,196名
(前年比**120.8%**)



イオンディライトアカデミーながはま



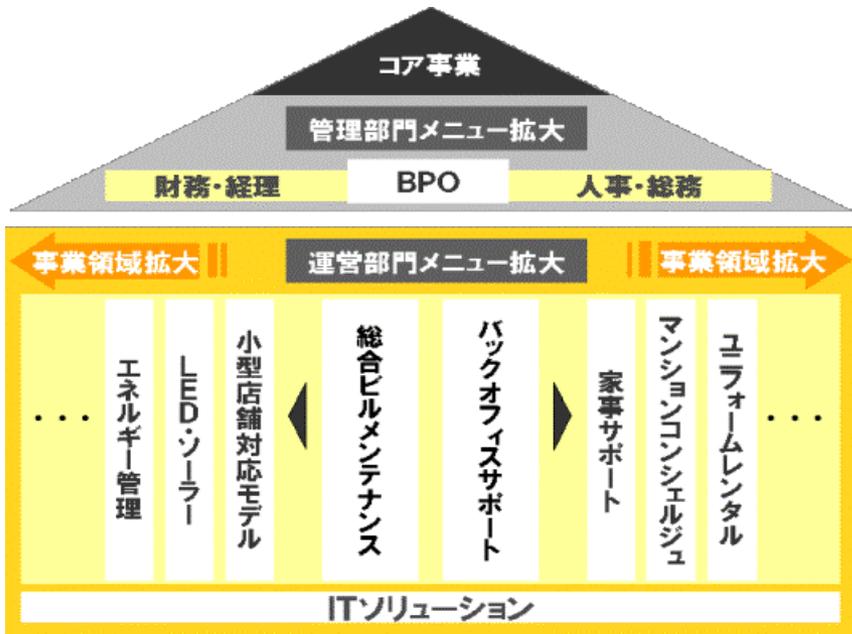
§ 1 2012年度 上期業績

§ 2 2012年度 下期以降の取り組み

§ 3 2012年度 業績見通し

§ 4 参考資料

中期経営計画 ～ 総合FMS事業の構築について ～



〔前年度までの取り組み〕

- ①09年に総合FMS事業化ビジョンを策定
- ②10年イオンディライト(株)とチェルト(株)の合併
- ③環境負荷低減事業に注力し省エネ・LED・ソーラー事業やエネルギー管理分野の確立に取り組む
- ④11年にエイ・ジー・サービス(株)を子会社化し、非常駐型小型チェーン店モデルの総合FMS事業の拡大に取り組む
- ⑤同年に(株)カジタクを子会社化し、BtoBtoC分野の家事サポート事業に進出する
- ⑥各事業分野のIT装備率を高めるため、IT子会社のFMSS(株)設立

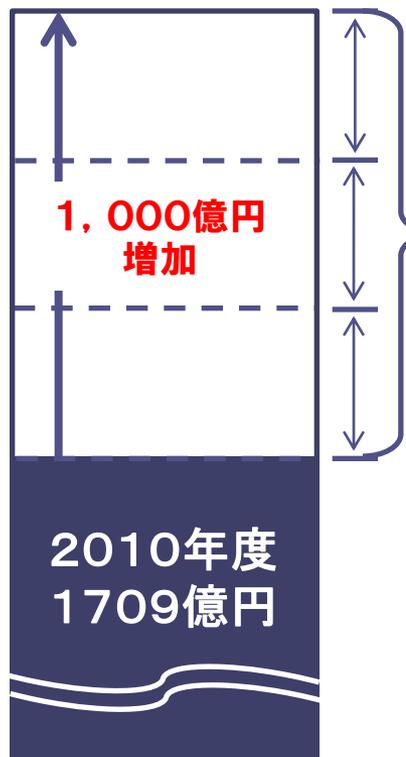
〔本年度の取り組み〕

1. BPO事業化のため中国にBPO会社を設立。また、(株)GSIを子会社化
2. 管理業務に係わるサービスメニューの重要コンテンツであるBTM、MICE分野の事業化としてイオンコンパス(株)を子会社化
3. マンションコンシェルジュの会社設立(予定)

中期経営計画の進捗について

売上高

2,700億円



2013年度
(計画)

(1) 2013年度目標2,700億円は達成見込み。

(2) 2012年度目標2,600億円は達成見込み。



- ・環境事業関連の拡大
省エネ・LEDに加え、BEMS、売電、EV、HEMSなどスマートコミュニティ事業に拡大
- ・中国/アセアン事業拡大

- ・カジタク
 - ・エイジーサービス
 - ・イオンコンパス
 - ・GSI
- ⇒進捗遅れ

目標数値の達成プロセス

営業利益

- (1) 2013年度営業利益目標 220億円。
※M&Aの進捗により、修正の可能性が有ります
- (2) 2012年度営業利益目標 166億円。

● 2012年度上期の目標76億円、実績71億円

上半期目標未達成の原因

- ① LED工事などの原価率が高くなったことなどで、売上総利益率は前年から1.4ポイント低下
- ② 中国・アセアン市場の開拓や環境・設備分野の人員増強、ITや環境といった成長分野への先行投資のコスト増加、BPRによる吸収計画の遅れ
- ③ グループ会社エイ・ジー・サービス(株)(AZS)の業績悪化(約1.5億円)

● 2012年度年間の目標166億円の達成

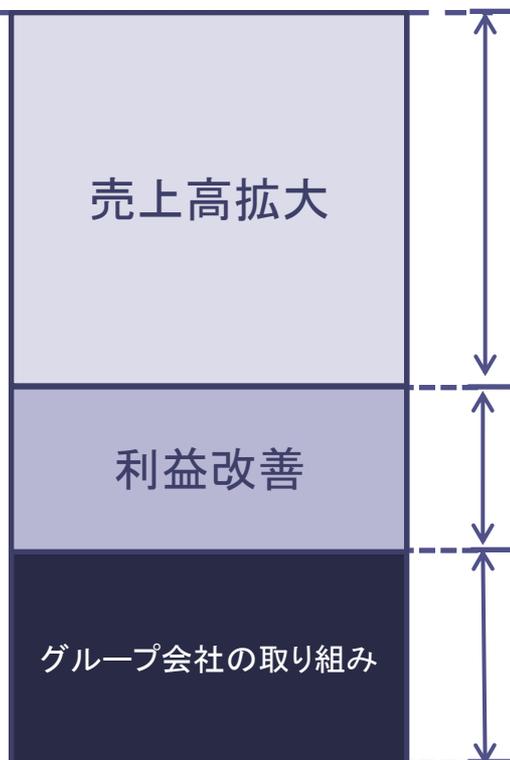
- ① M&Aの遅れによる影響は15億円
- ② 対策としての既存事業で約25億のカバー

2012年度目標営業利益数値の達成施策

営業利益

25億円の営業利益拡大対策

25億円



12.0億円

売上高拡大

- ・グループ内外へのLED工事
- ・BEMS、熱源、看板工事
- ・新規営業の受託
- ・5円コピー機拡販

5.5億円

利益改善

- ・清掃の利益改善
- ・自販機の利益率改善
- ・資材の物流拠点集約

7.5億円

グループ会社の取り組み

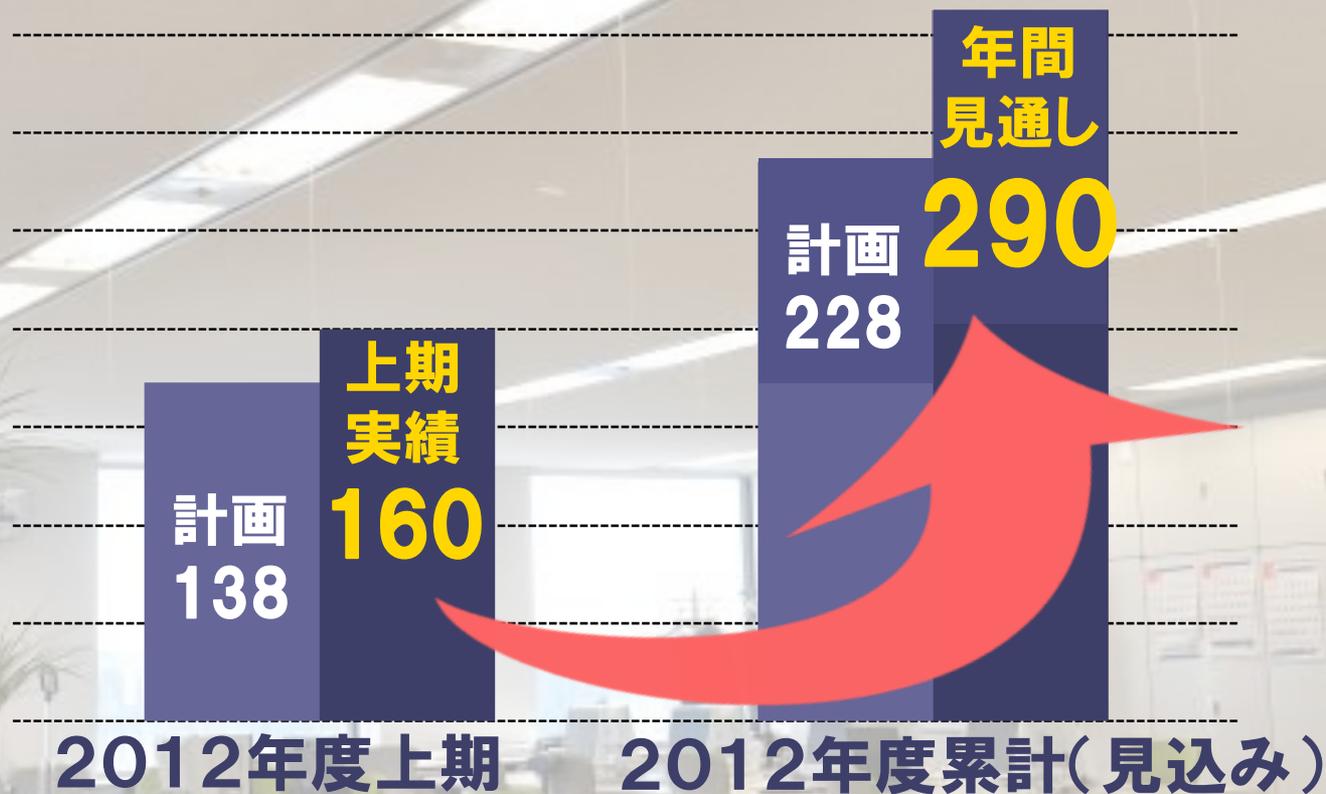
- ・AZS、カジタクを中心とした売上強化

営業利益
拡大対策分

LED工事の推進

2012年度 LED売上進捗

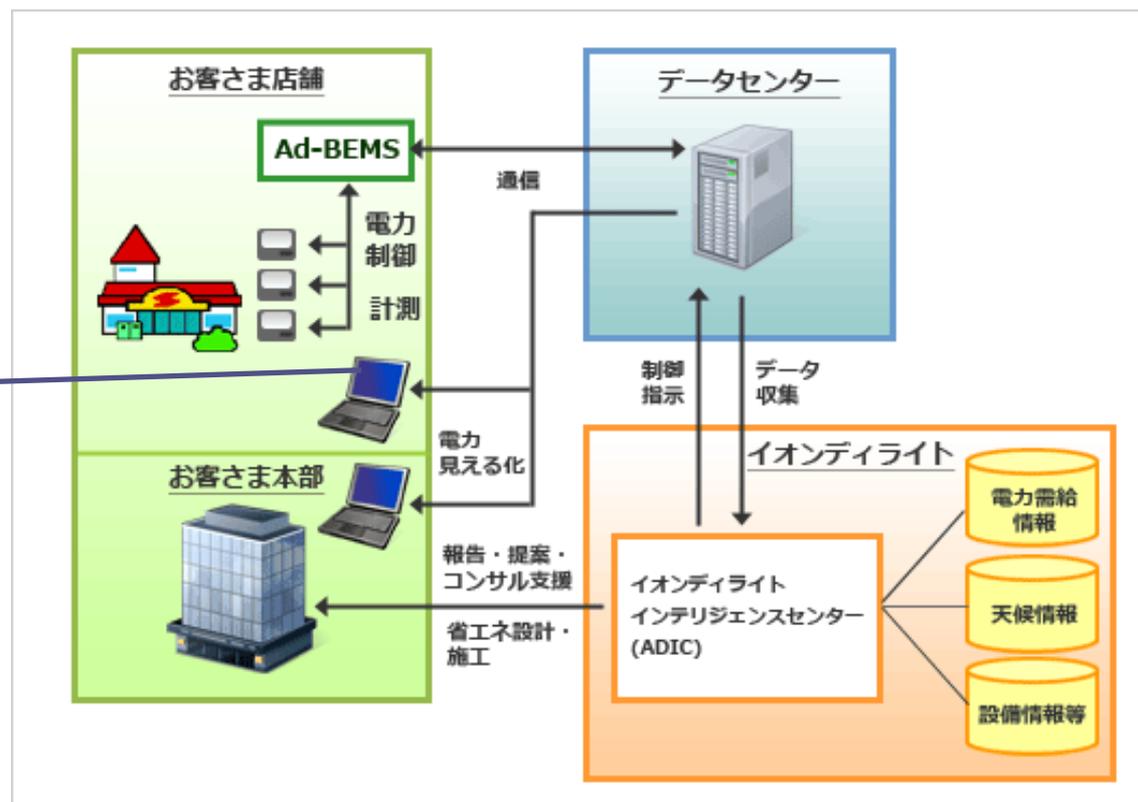
単位:億円



BEMSアグリゲータ (スマートコミュニティの基盤)



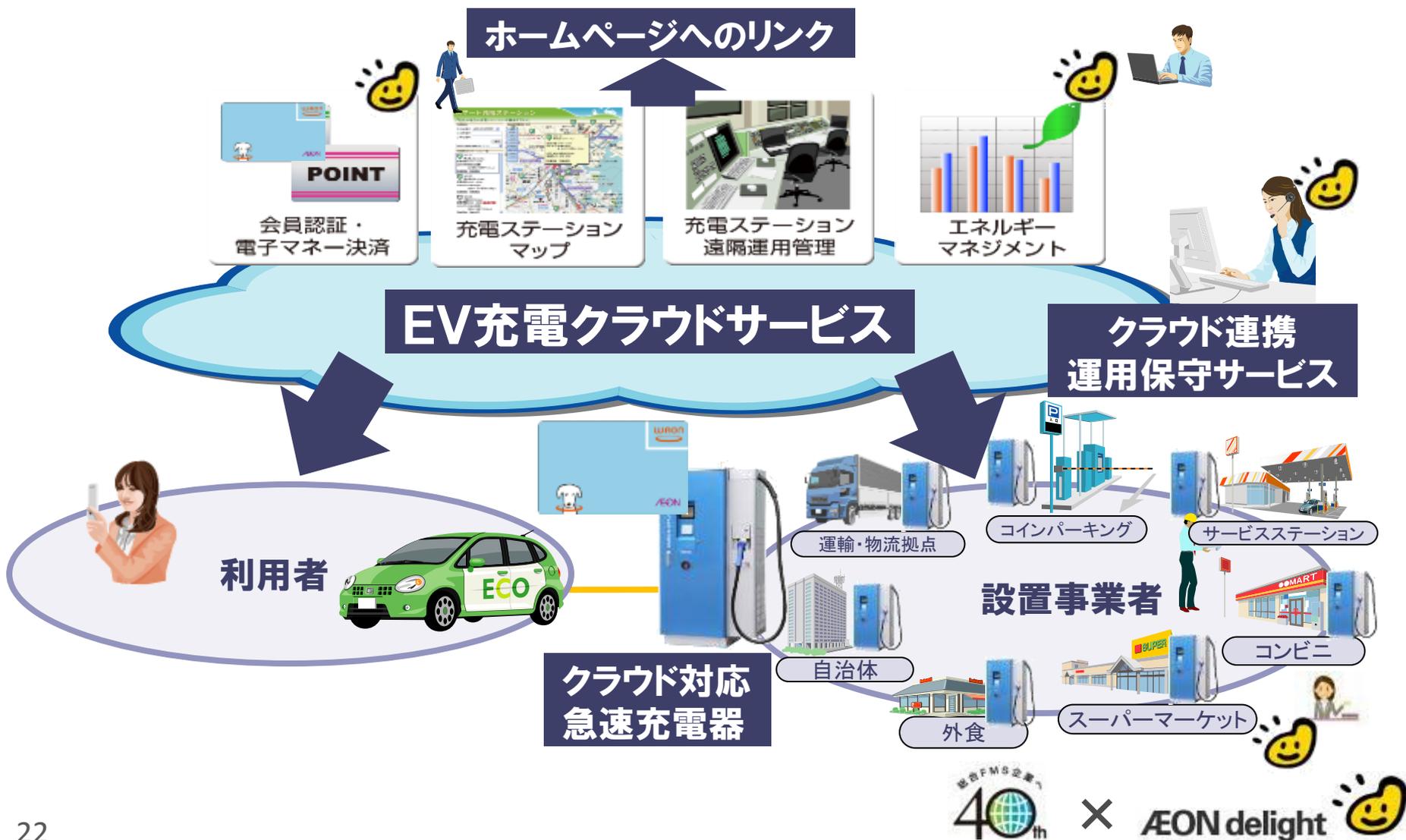
Ad-BEMS



- 将来的にスマートコミュニティの基盤となるシステムとして、冬場に電力需要が増加するエリア・業態を中心に営業展開

(下期計画) 400件

●WAONをEV充電キーとして利用。各種マーケティングへの活用を図る



電力会社



各電力会社

イオングループ



AEON delight

- ・設備投資
- ・施工
- ・運用
- ・電力売買



GMS



SM/DS



再生可能
エネルギー創出

EV充電設備

常用
発電機設備



AEON delight



■ イオンディライトのトイレ革命

循環式節水型樹脂製小便器の開発



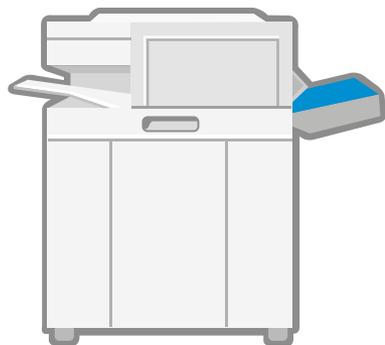
- 排水時の水を
約90%節水
- 製造時のCO2削減
- 容易なメンテナンス
- 多様な色彩対応可

1. コンビニを中心とした5円コピー機の拡販 コピー資材の取引拡大

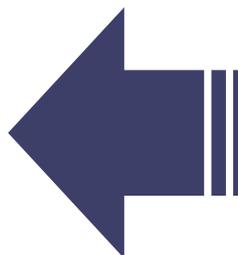
(上期実績) 1,200台

(下期計画) 3,000台, 営業利益約2.7億円の寄与

2. 5円コピー機の機能強化



5円コピー機



付加



写真プリント機能

- お客さまの利便性を高める付加価値として、5円コピー機に写真プリント機能を追加

■ 家事玄人の拡販

**上期販売実績26,000個
(売上2.8億円)**

⇒webプロモーション等
販路拡大、拡販を推進

家事玄人



■ 防災用品(避難リュックセット)商品の開発と販売

⇒お客さま、お取引先さまへ
災害の備えを提案
(年間売上目標2.5億円)

避難リュックセット

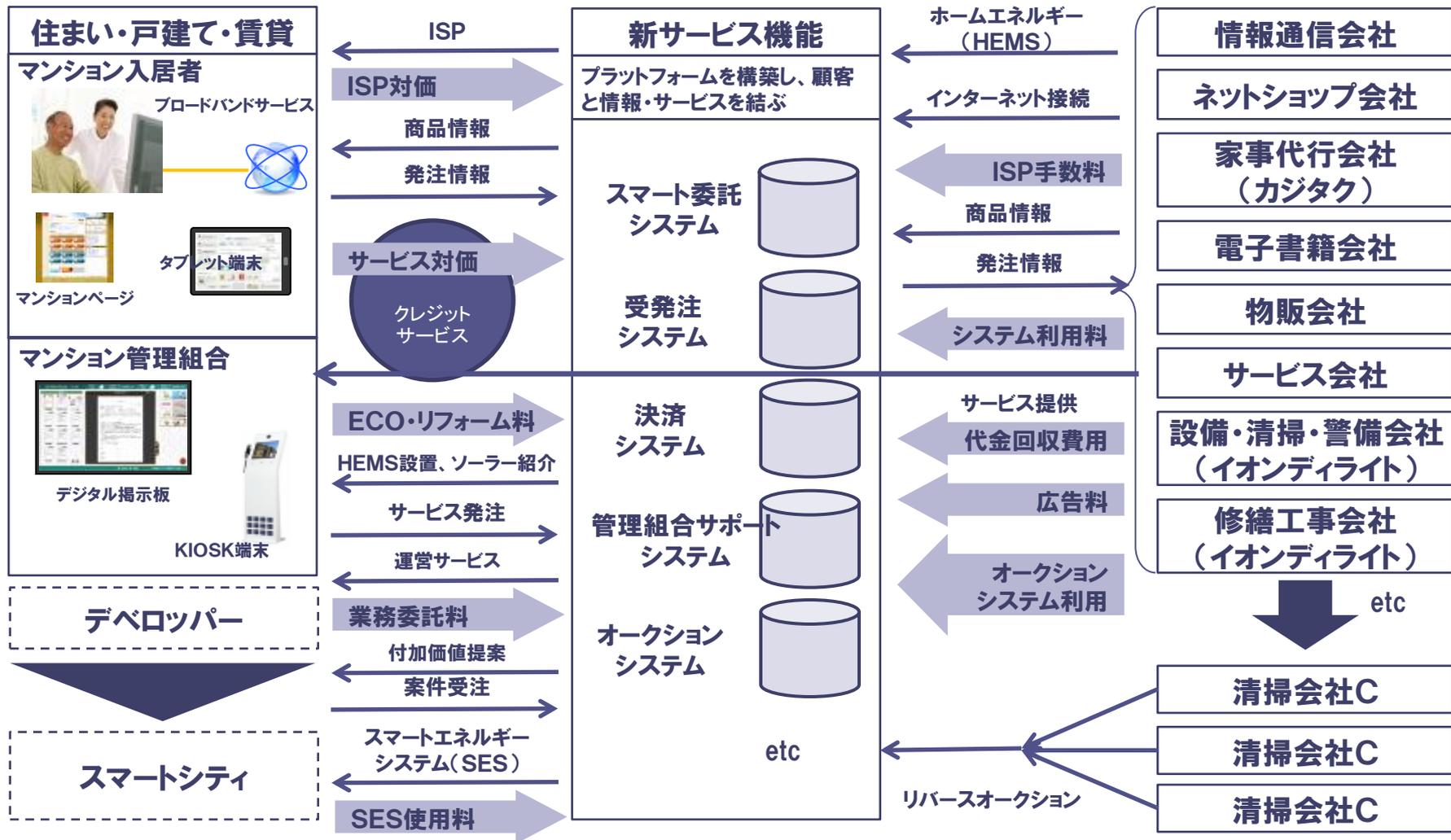


新しいマンション事業創出

「大都市圏」マーケット

事業モデル

※年度内に会社設立予定。



AEON delight



1. エリア戦略の推進



凡例

- …既進出済みエリア
- …2012年度展開済みエリア
- …2012年度展開計画エリア



(中国)

●重点エリアの合併戦略第2号

江蘇省蘇州市の物業1級ライセンスを持つ
「蘇州市蘇房物業管理有限公司」の株式を
51%取得。

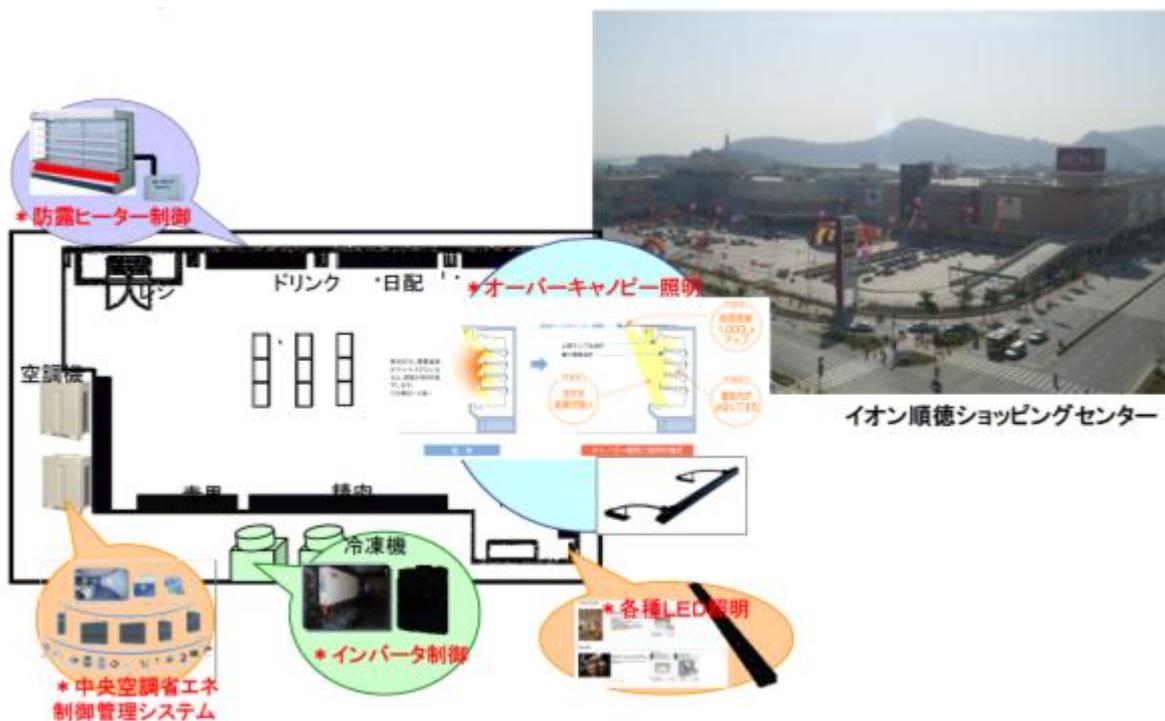
●3つの営業チャネルで事業を拡大

- (1) 外資系企業への営業開拓
- (2) 既存受託先への営業拡大
- (3) 現地企業とのアライアンス



2. 省エネビジネスの拡大

- 広東省佛山市のイオン順徳SCにおいて、「**ESCO型省エネサービス**」を導入。空調システムの更新や照明の効率化など従来と比較し年間約10%のCO2排出量削減が可能
中国においても省エネビジネスを展開



1. 現地法人設立に向けた取り組み



(ベトナム)

- 2012年11月の現地法人設立し、2013年度より本格的に事業開始予定



(マレーシア)

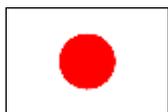
- 2012年12月にオープン予定のイオンマレーシアの新店より事業開始を予定

※カンボジア・インドネシアにはイオン開設支援として人材派遣をしてフィジリビリティスタデイ予定。



2. 二国間オフセット・クレジット制度採択に向けた取り組み

- 相手国への温室効果ガス削減技術・製品・システム・サービス・インフラ等の普及や対策を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本の貢献を定量的に評価し、日本の削減目標の達成に活用するもの



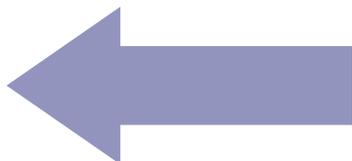
(タイ)

(ベトナム)

(マレーシア)



BEMS、LED
などの省エネ機器
導入



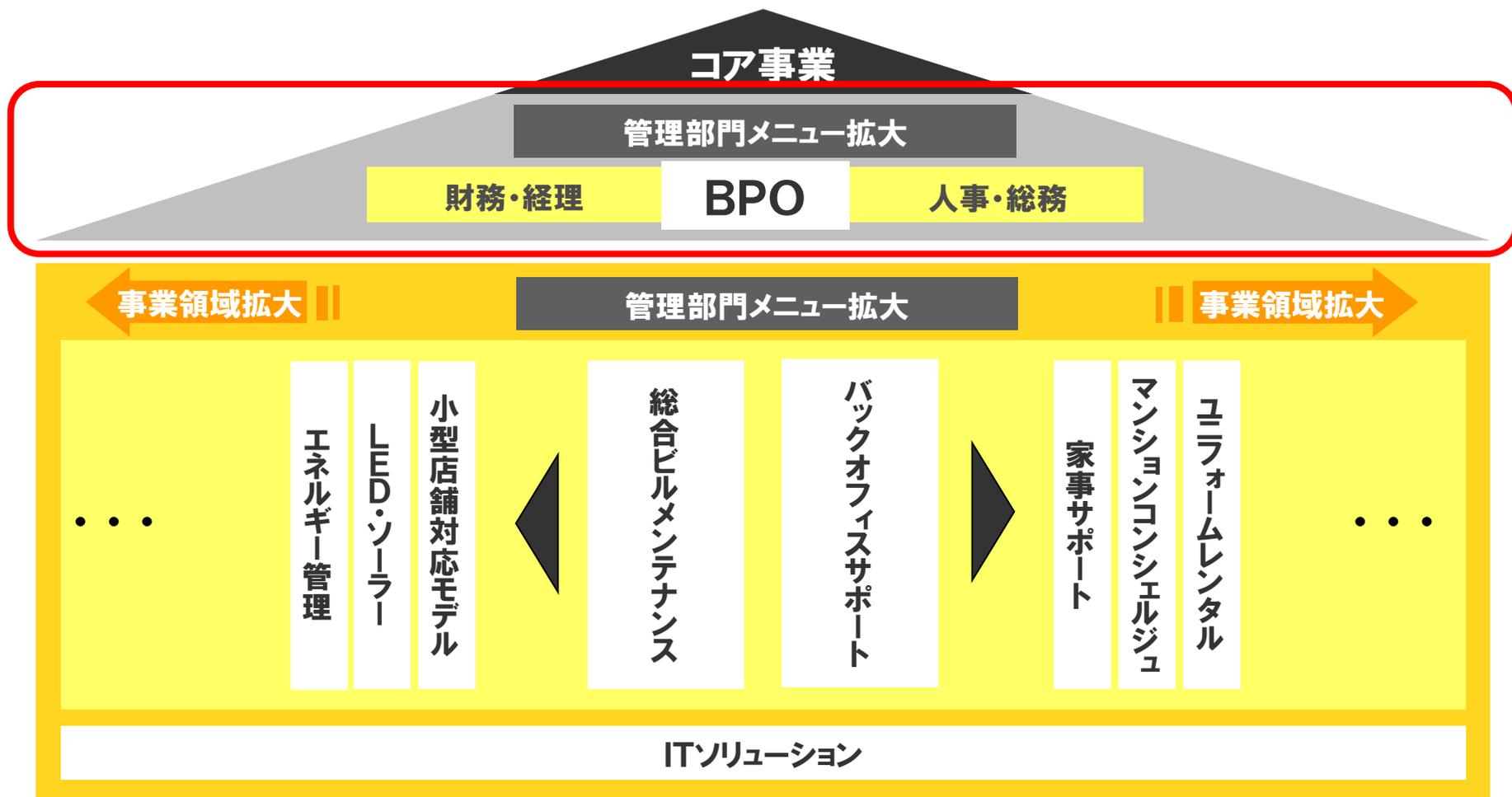
排出削減・吸収量



AEON delight



総合FMS事業の主力事業の構築



1. オフショア拠点の中国(杭州・大連)への設立

- 総合FMSの新たなサービスメニューとして、総務・人事・経理などの管理部門の効率化を推進するBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)事業に参入
- ヴィンキュラム ジャパン(株)、(株)東忠との3社で、杭州市に合弁会社「**永旺永楽(杭州)服務外包有限公司**」の設立を推進(10月設立予定)

まずは、当社グループ内にBPOを推進し、そこでノウハウを蓄積して外部受託へと拡大として事業化を図る

2. 株式会社ジェネラル・サービシーズ(GSI)の株式取得

<BPOプレイヤーのタイプ>

ワンストップ型(強)



ワンストップ型(弱)

- ①日本においてアウトソーシング導入コンサルティングをおこない、かつ大連での運用においては業務毎・機能毎の受託を実現している大連唯一の日系企業
- ②「シェアードサービスに精通」、「オペレーションの専門家集団」、「10年の歳月をかけて創り上げたオペレーションマネジメント文化」の強みを持つ

3. BPOビジネスの運営体制

BPOオペレーション
拠点

業務別・機能別に
サービスを提供

運用(GSI子会社)

受注した間接業務を
一カ所に集約し運用

コンサルティング
(GSI)

東京

当社の顧客基盤を活用
した営業活動

大連

他エリアにオペ
レーション拠点
の拡大を図る

杭州

永旺永楽(杭州)サービス外包有限公司

営業活動(ADサービス外包)

イオンコンパス株式会社を子会社化

企業・組織(BtoB)の出張・移動・旅行そして会議・イベント
などの解決の羅針盤の役割を果たす

事業領域1. 「BTM(Business Travel Management)事業」

⇒出張関連業務を包括的に受託し、航空券や宿泊費等の直接コスト削減や経費関連業務の効率化、内部統制強化、危機管理等、出張業務全体をマネジメントする

事業領域2. 「MICE(Meeting、Incentive、Convention、Exhibition)事業」

⇒Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、Convention
またはConference(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の企画・運営を
請け負う事業です。

事業領域3. 「BtoBtoCとしての旅行企画の実施」

⇒イオングループ各社のソーシング開発の旅行を卸す。SC発着チャータ便企画

事業領域4. 「WEB通販事業」

事業領域5. 「アジアでのBTM・MICE・BtoBtoC旅行企画」

●イオンディライトの法人顧客基盤とイオンコンパス(株)の企画力の
融合での成長戦略

どこでもオフィス & モバイル・ネット・ワーキング

デジタルシフトによる働き方の改革

- (1) IT装備率を高めてモバイル・ネット・ワーキングによる仕事の生産性を向上させる
- (2) ソリューション営業でのプレゼンテーション力を高める
- (3) 次世代オフィス環境を構築しTCO削減とグローバル対応を図る

活動時間向上



すきま時間の有効活用
訪問、巡回件数の拡大

顧客サービス向上



提案力・作業品質・
対応スピードの向上

現場の状況を写真で報告、同時に複数の場所で共有しながら指示

FMSSクラウドセンター

- ・画像や資料(PDF、Office文書)に対し、複数人が同時に文字や図を書き込み、それらの情報をリアルタイムに共有できる。
- ・ファイルが作られてからの全ての履歴を残すことができ、誰が、いつ、どんな指示を出したかの記録が分かる。



- ・現場写真
- ・報告書
- ・作業メモ
- ・契約書
- ・施設/設備台帳
- ・マニュアル
- ・会議資料

etc...



インターネット

作業現場

- ・作業現場で写真撮影して登録
- ・電話では伝えにくい事を画像上に手書きで状況説明(報告)



支社・支店、センター

- ・支社やセンターが必要な資料を登録
- ・資料への補足説明、指示を手書で現場に伝える



ITタブレットによる営業ソリューション動画による 誰でも標準的なプレゼンテーションが出来る 全社営業体制の構築



- ・ITタブレット端末による独自の営業スタイル。
- ・営業による動画ツール(上期で8本整備)

- ・支社やセンターまで標準化された営業動画により「営業トーク」が可能
- ・お客さまが興味を持たれた場合には専門の営業部隊がコンサル



- ①全国約50ヶ所の支店等の事務所を商店街や駅前、SC内で営業オフィス化
- ②IT装備率を高め、事務作業をBPOとしてオフショアすることにより、BtoBtoC営業へ転換する

③従来のオフィスビル内の事務スペース家賃で営業スペースを確保する

④第一号を高松中央商店街に本年度に開設する

⑤環境商品を中心にBtoB商談・BtoBtoC販売を行う



§ 1 2012年度 上期業績

§ 2 2012年度 下期以降の取り組み

§ 3 2012年度 業績見通し

§ 4 参考資料

2012年度業績見通し

単位:百万円

| | 2013年2月期通期予想 | | | 2012年2月期実績 | |
|-------|--------------|------------|------------|------------|------------|
| | 金額 | 売上比 (%) | 前年比 (%) | 金額 (実績) | 売上比 (%) |
| 売上高 | 260,000 | 100.0 | 118.3 | 219,797 | 100.0 |
| 営業利益 | 16,600 | 6.4 | 120.6 | 13,762 | 6.3 |
| 経常利益 | 16,600 | 6.4 | 120.4 | 13,784 | 6.3 |
| 当期純利益 | 8,700 | 3.3 | 125.9 | 6,912 | 3.1 |



株主還元

2005年度以降**8期連続**の増配を目指します

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 予想 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 配当額 | 8.0円 | 9.0円 | 15.0円 | 17.5円 | 22.0円 | 27.0円 | 39.0円 | 40.0円 | 46.0円 |

■ 配当金 ■ 記念配当 □ 配当予想



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。



AEON delight



§ 1 2012年度 上期業績

§ 2 2012年度 下期以降の取り組み

§ 3 2012年度 業績見通し

§ 4 参考資料

損益推移

単位:百万円

| | 2003年度 | | 2004年度 | | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | |
|-------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 実績 | 前年比 (%) | 実績 | 前年比 (%) | 実績 | 前年比 (%) | 実績 | 前年比 (%) | 実績 | 前年比 (%) |
| 売上高 | 55,749 | 99.3 | 54,665 | 98.1 | 62,323 | 114.0 | 111,170 | 178.4 | 137,519 | 123.7 |
| 営業利益 | 1,686 | 79.7 | 2,504 | 148.5 | 2,949 | 117.8 | 5,576 | 189.0 | 8,330 | 149.4 |
| 経常利益 | 1,697 | 80.5 | 2,511 | 147.9 | 2,953 | 117.6 | 5,485 | 185.7 | 8,186 | 149.2 |
| 当期純利益 | 148 | 13.1 | 860 | 580.6 | 1,324 | 153.8 | 2,998 | 226.4 | 4,379 | 146.1 |

単位:百万円

| | 2008年度 | | 2009年度 | | 2010年度 | | 2011年度 | | 2012年度2Q | |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|
| | 実績 | 前年比 (%) | 実績 | 前年比 (%) |
| 売上高 | 145,690 | 105.9 | 140,299 | 96.3 | 170,905 | 121.8 | 219,797 | 128.6 | 126,771 | 115.3 |
| 営業利益 | 9,946 | 119.4 | 9,970 | 100.2 | 12,031 | 120.7 | 13,762 | 114.4 | 7,113 | 102.9 |
| 経常利益 | 9,812 | 119.9 | 9,912 | 101.0 | 12,089 | 122.0 | 13,784 | 114.0 | 7,124 | 102.1 |
| 当期純利益 | 4,876 | 111.3 | 5,466 | 112.1 | 6,495 | 118.8 | 6,912 | 106.4 | 3,944 | 106.2 |



AEON delight



大株主の状況および所有者区分(比率)

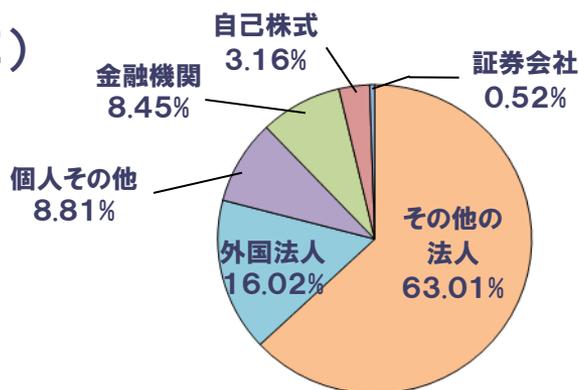
大株主の状況

所有比率は発行済株式に対する比率です。株式数は千株未満を切り捨て、比率は小数第3位を四捨五入しております。

| 順位 | 株主名 | 所有株式数(千株) | 所有比率(%) |
|----|---------------------------------------|-----------|---------|
| 1 | イオンリテール株式会社 | 23,261 | 42.94 |
| 2 | イオン株式会社 | 9,103 | 16.81 |
| 3 | ジェーピー モルガン チェース バンク 385174 | 1,372 | 2.53 |
| 4 | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,201 | 2.22 |
| 5 | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,029 | 1.90 |
| 6 | イオンディライト取引先持株会 | 668 | 1.23 |
| 7 | イオンディライト従業員持株会 | 661 | 1.22 |
| 8 | ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデツク アカウント | 586 | 1.08 |
| 9 | ジェーピーモルガンチェース ユーエス ペンション トリーティ ジャスデツク | 578 | 1.07 |
| 10 | メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス | 478 | 0.88 |

データは2012年8月31日現在

所有者区分(比率)



経営指標

| | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 第2四半期 |
|-----------------|---------|-----------|-----------|-----------------|
| EPS(一株当り当期純利益) | 137.79円 | 142.56円 | 131.81円 | 半期)75.21円 |
| ROE(自己資本当期純利益率) | 18.91% | 15.47% | 12.55% | 半期)6.70% |
| ROA(総資産当期純利益率) | 11.19% | 9.75% | 7.79% | 半期)3.98% |
| 売上高経常利益率 | 7.06% | 7.07% | 6.27% | 5.62% |
| 売上高純利益率 | 3.90% | 3.80% | 3.15% | 3.11% |
| 総資本回転率 | 2.87回 | 2.56回 | 2.48回 | 半期)1.28回 |
| 自己資本比率 | 64.22% | 62.32% | 61.92% | 57.22% |
| 1株当たり純資産 | 787.84円 | 1,005.62円 | 1,095.59円 | 1,050.45円 |
| PER(株価収益率) | 8.83倍 | 10.57倍 | 11.62倍 | 半期)20.37倍 |
| PBR(純資産倍率) | 1.54倍 | 1.50倍 | 1.40倍 | 1.33倍 |
| (ご参考)期末株価 | 1,216円 | 1,507円 | 1,532円 | 1,813円 |

※数値は小数第3位を四捨五入しております。

本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。 ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載

◇記載金額は百万円未満を切り捨て

◇比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高橋(タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2012年10月3日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。